

恵那南地区中学校再編委員会だより

<http://www.city.ena.lg.jp/shisei/administration/committee/chugakkousaihen/>

恵那市教育委員会 学校再編対策室

第8回恵那南地区中学校再編委員会 平成27年11月30日(月) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・学校統合の場所について(グループ討議)

◇第8回の概要

今までの討論内容や各地域から出た意見、これまでの会議資料に基づいて「既存校を利用する場合の通学距離・時間」「通学方法について」といった内容を中心にグループ討議を行いました。

通学関係については特に多くの意見が出ており、諮問内容である「学校統合の場所」を決めるための重要なテーマとなっています。



【第8回 資料説明の様子】

第9回恵那南地区中学校再編委員会 平成27年12月21日(月) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・学校統合の場所について(グループ討議)

◇第9回の概要

第8回から引き続き討論を行いました。今回は「恵那南地区の中心地の考え方」「望ましい学校環境と既存校の利用」といった内容を中心にグループ討議を行いました。

今回は最後に各グループの発表を行い、地域の実情や考えを述べました。次回はこの発表内容を事務局で取りまとめて、全体で答申案を考えていきます。



【第9回 グループ発表の様子】

■恵那南地区中学校の再編についての経緯



□平成18年度 恵那市総合計画第5節「思いやりと文化を育む人づくりのまち」

- ・少子化に伴い今後さらに加速する学校の小規模化に対応する教育の在り方についての研究を教育委員会学校教育課で始めました。また地区別教育懇談会による意見聴取等を行いました。

□平成19年度 教育委員会内部検討委員会発足

- ・前年度の研究及び意見聴取に基づいて、「公立学校の教育の充実」「教育環境の公平性」に観点を置いた内部検討を行いました。その結果、恵那市における学校の適正規模について検討が必要という結果となり、翌年度に検討委員会を発足することとしました。

□平成20年度 教育委員会の諮問機関「小規模教育検討委員会」発足

- ・恵那市全体を考えた中学校の適正規模のあり方について、適正規模からみた恵那市の中学校のあるべき姿の具体像について検討を行い、平成21年度に小規模教育検討事項報告書が教育委員会へ提出されました。

小規模教育検討事項報告書より（抜粋）

恵那市の「小中学校の適正規模条件」の基本

○小中学校ともに、1学年で複数の学級が編成される規模が望ましい

○中学校では、各教科担任が満たされる規模が望ましい

恵那市の適正規模としては上記の条件が望ましいが、地理的条件や地域性を考えた場合、その許容範囲として、小学校は学年単学級規模、中学校は学年複数学級規模を
考える。

□平成26年度 「恵那南地区中学校あり方検討委員会」発足

- ・小規模教育検討委員会の報告書に基づき、今後急速に少子化を迎える恵那南地区の中学校の適正規模について検討をするため「恵那南地区中学校あり方検討委員会」が発足しました。
- ・教育委員会より「適正配置条件」、「学校の統合」の2つの事項について審議を依頼し、提言をいただきました。